


21世紀の複雑化する国際情勢 に於ける「平和研究」の有効性

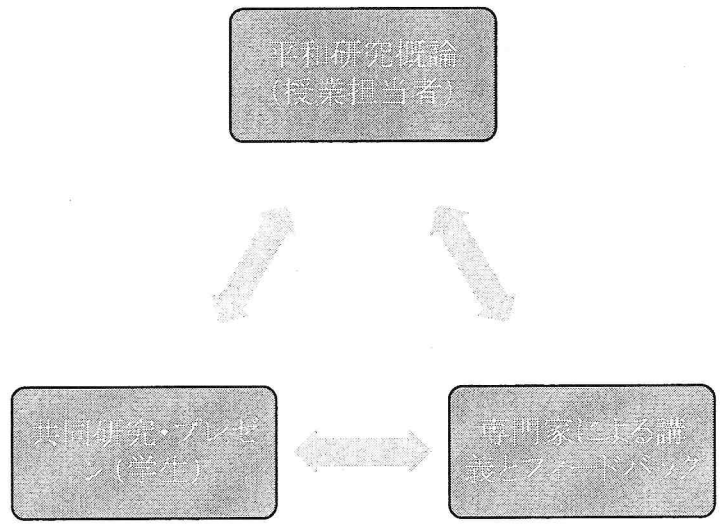
FD支援プロジェクト2009年度
早川敦子

「平和研究」への多角的アプローチ

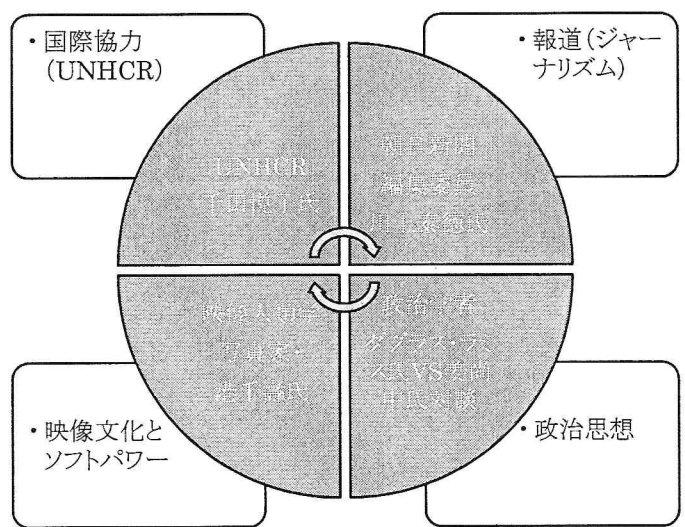
目的	・ 国際情勢に直接的に関わる学外の専門家からの情報および知識の供与を授業に取り込む
方法	・ 前期・後期各2名の専門家による講義
内容	・ テーマに関する事前リサーチとプレゼンテーション ・ 講義後のフィードバックと報告



内容のコーディネーション



2009年度プログラム



4本の柱とテーマの展開

「平和構築」へのアプローチ	講演者とテーマ
①国際協力のプロセスと可能性	UNHCRの活動報告と可能性 =>国際協力とは何か 千田悦子氏
②報道の現場から(ジャーナリズム)	朝日新聞社 外報部の仕事から見た世界 => 中東報道の情報発信と日本での受容 在カイロ 編集委員 川上泰徳氏
③映像文化とソフトパワーの可能性(映像人類学)	歴史を記録する写真 =>ベルリンの壁の崩壊と活字文化の事例 写真家・多摩美大教授 港千尋氏
④政治思想 対談	21世紀の国家とアイデンティティ 対談:ダグラス・ラミスVS.姜尚中 (岩波ブックレットに収録)

講義内容

①「UNHCRとは？」UNHCRの活動
報告と可能性 千田悦子

本講義習 在日外国人の第二次大戦後の「人権」安全確保
課題① UNHCRの概要
② UNHCR
在日報告書・国際社会との関係③在日外国人の権利



UNHCRの活動と国際協力の
関係

国連の活動と国際協力の
関係、在日外国人の権利

国際社会と日本の関係
国際社会と日本の関係

講義内容

②朝日新聞社 外報部の仕事から見た世界
 ③中東報道の情報発信と日本での受容
 ④在米在日編集委員 川上泰徳氏

事前共同研究とプレゼン
 中東は何が起きているのか？新聞から情報を
 収集し、川上氏と共同で中東ウオッチャーズの
 定例会議を行う。



中東の情勢と中東報道
 が在米在日編集委員

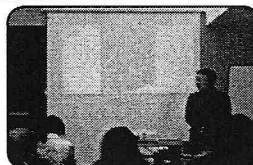
④中東にみる取材現場
 とメディアの消費記録

⑤新聞記事の日本語アリス
 がわかる本確認
 ⑥中東報道が日本を
 どのように変えてきたか

講義内容

③映像文化とソフトパワーの可能性(映像人
 類学)写真家・多摩美大教授 港千尋氏

事前共同研究とプレゼン「ベルリンの
 壁崩壊」文字の母は写真展を通
 して「写真」という媒体の意味を検証



④プロダクション
 ソフト
 撮影の背景

制作にあたって
 の経緯とその後
 の社会的反響

⑤二つの写真展が
 映像文化の可
 能性を検証

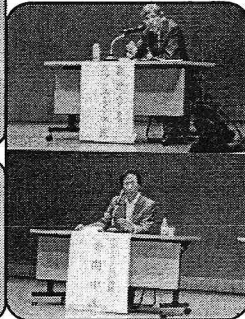
講義内容

①政治思想:21世紀の国家とアイデンティティ
対談:ダグラス・ラミスVS.姜尚中

事前学習とプレゼン
ダグラス・ラミス『ラミスの政治学』
および姜尚中『社説から
「国家とは何か」』の論点を抽出

ダグラス・ラミス
米政治学者。『ラミスの政治学』著者。『自由主義の
危機』著者。『自由主義の危機』著者。

姜尚中
元駐米大使館参事官。『社説から「国家とは何か」』著者。『社説から「国家とは何か」』著者。



まとめ

● 基本:授業での講義および事前学習とリサーチ

● 発展:専門家による講義 > 情報と専門知識の供与 > レポート > フィードバック

● 統括:半期を通しての基礎+発展をもとに、21世紀における「平和構築」についての可能性を探る